



諸
礼
集

二

口七
787
2



口田
787
巻 2

中の人

中の人

中の人

研の注書
 一 主人の名も...
 一 主人の...
 一 主人の...
 一 主人の...
 一 主人の...

研の注書

主人

主人

主人

主人

主人

一 何事か

一 何事か人をいふ事ある事
て中程へしきんもむらやと人のいふ事
その事ある事なく事ある事
いふ事一 何事か人のいふ事
まて能くもすこも一 何事か人のいふ事
まて能くもすこも一 何事か人のいふ事
まて能くもすこも一 何事か人のいふ事
まて能くもすこも一 何事か人のいふ事
まて能くもすこも一 何事か人のいふ事
まて能くもすこも一 何事か人のいふ事
まて能くもすこも一 何事か人のいふ事
まて能くもすこも一 何事か人のいふ事
まて能くもすこも一 何事か人のいふ事
まて能くもすこも一 何事か人のいふ事

一 何事か人をいふ事ある事
て中程へしきんもむらやと人のいふ事
その事ある事なく事ある事
いふ事一 何事か人のいふ事
まて能くもすこも一 何事か人のいふ事
まて能くもすこも一 何事か人のいふ事
まて能くもすこも一 何事か人のいふ事
まて能くもすこも一 何事か人のいふ事
まて能くもすこも一 何事か人のいふ事
まて能くもすこも一 何事か人のいふ事
まて能くもすこも一 何事か人のいふ事
まて能くもすこも一 何事か人のいふ事
まて能くもすこも一 何事か人のいふ事

一 何事か人をいふ事ある事
て中程へしきんもむらやと人のいふ事
その事ある事なく事ある事
いふ事一 何事か人のいふ事
まて能くもすこも一 何事か人のいふ事
まて能くもすこも一 何事か人のいふ事
まて能くもすこも一 何事か人のいふ事
まて能くもすこも一 何事か人のいふ事
まて能くもすこも一 何事か人のいふ事
まて能くもすこも一 何事か人のいふ事
まて能くもすこも一 何事か人のいふ事
まて能くもすこも一 何事か人のいふ事
まて能くもすこも一 何事か人のいふ事

主人ヨリカタ
ニ、ト、リ、ハ、コ、ク
カ、ラ、ニ、カ、タ、リ、ク

本庄ゆき
大屋くわんし

あふんたふりくはくしてゆく
まふらふらあつてのゆるりゆ
はななふらふらあつてのゆるり
ゆめゆめふらふらあつてのゆるり
まふらふらあつてのゆるり
まふらふらあつてのゆるり
まふらふらあつてのゆるり
まふらふらあつてのゆるり
まふらふらあつてのゆるり
まふらふらあつてのゆるり

まふらふらあつてのゆるり
まふらふらあつてのゆるり
まふらふらあつてのゆるり
まふらふらあつてのゆるり
まふらふらあつてのゆるり
まふらふらあつてのゆるり
まふらふらあつてのゆるり
まふらふらあつてのゆるり
まふらふらあつてのゆるり
まふらふらあつてのゆるり
まふらふらあつてのゆるり

二
二

Handwritten text in Arabic script, right page. The text is written in a cursive style and includes several lines of prose. There are some red ink markings, possibly indicating corrections or specific words. The page shows signs of age and wear, with some staining and a small tear at the top.

Handwritten text in Arabic script, left page. The text continues from the right page and is written in a similar cursive style. It also includes several lines of prose and features red ink markings. The page is aged and shows some wear, including a small tear at the top.

独りてのうたがよへて
こはろくへ下^{ちか}ゆへり
くあふもよむしづきしてのむもあつちなる
一 白きくまもよめりりいひくまもよめりり
あつちもよめりりいひくまもよめりり
ゆきもよめりりいひくまもよめりり
一 かのくにあつちもよめりりいひくまもよめりり
あつちもよめりりいひくまもよめりり
ゆきもよめりりいひくまもよめりり
のうたがよへてあつちもよめりりいひくまもよめりり
あつちもよめりりいひくまもよめりり
あつちもよめりりいひくまもよめりり

あつちもよめりりいひくまもよめりり
あつちもよめりりいひくまもよめりり
ゆきもよめりりいひくまもよめりり
あつちもよめりりいひくまもよめりり
あつちもよめりりいひくまもよめりり
ゆきもよめりりいひくまもよめりり
あつちもよめりりいひくまもよめりり
あつちもよめりりいひくまもよめりり
ゆきもよめりりいひくまもよめりり
あつちもよめりりいひくまもよめりり
あつちもよめりりいひくまもよめりり
あつちもよめりりいひくまもよめりり
ゆきもよめりりいひくまもよめりり
あつちもよめりりいひくまもよめりり

あつちもよめりりいひくまもよめりり
あつちもよめりりいひくまもよめりり
ゆきもよめりりいひくまもよめりり
あつちもよめりりいひくまもよめりり
あつちもよめりりいひくまもよめりり
ゆきもよめりりいひくまもよめりり
あつちもよめりりいひくまもよめりり
あつちもよめりりいひくまもよめりり
ゆきもよめりりいひくまもよめりり
あつちもよめりりいひくまもよめりり
あつちもよめりりいひくまもよめりり
ゆきもよめりりいひくまもよめりり
あつちもよめりりいひくまもよめりり
あつちもよめりりいひくまもよめりり
ゆきもよめりりいひくまもよめりり
あつちもよめりりいひくまもよめりり

Handwritten text in a cursive script, likely a personal letter or diary entry. The text is written in black ink on aged paper. There are some red markings, possibly initials or corrections, interspersed throughout the writing.

Handwritten text in a cursive script, continuing from the previous page. The writing is dense and fills most of the page. There are several red markings, including what appears to be a large red character or symbol near the top left of this page's text.

Handwritten text in a cursive script, continuing from the previous page. The writing is dense and fills most of the page. There are several red markings, including what appears to be a large red character or symbol near the top left of this page's text.

きりぬき 醜く のなよ入るすはななくあり。後ふ
たへし又附^き入るし。らぬ人数^たの付^きせし。さう
し。くさうもさうなう。ま二人のさうもさうなう
さう乃後^ふさうよ。らぬ。又さうもさうなう。さう
もさうなう。後^ふさうよ。らぬ。乃後^ふさうよ。らぬ。
を別^べき。

一 世にこの入るすはななくあり。後ふ
乃附^きせし。のさう。はななくあり。後ふ
一 後^ふさうよ。らぬ。乃後^ふさうよ。らぬ。
新^{しん}の附^きも。さうなう。はななくあり。後ふ
一 世にこの入るすはななくあり。後ふ

一 世にこの入るすはななくあり。後ふ
乃附^きせし。のさう。はななくあり。後ふ
一 後^ふさうよ。らぬ。乃後^ふさうよ。らぬ。
新^{しん}の附^きも。さうなう。はななくあり。後ふ

一 世にこの入るすはななくあり。後ふ
乃附^きせし。のさう。はななくあり。後ふ
一 後^ふさうよ。らぬ。乃後^ふさうよ。らぬ。
新^{しん}の附^きも。さうなう。はななくあり。後ふ

礼あるは致おさるるをうよるぬべし。さうな

一

那は、いしく、つらふ、おののぬんううあり

さう、**た**い、まの、つらふ、おののぬんううあり

つらふ、おののぬんううあり

おののぬんううあり

おののぬんううあり

おののぬんううあり

あう、さう、な

一

あう、さう、な

あう、さう、な、あう、さう、な

あう、さう、な、あう、さう、な

あう、さう、な、あう、さう、な

あう、さう、な、あう、さう、な

あう、さう、な、あう、さう、な

あう、さう、な、あう、さう、な

あう、さう、な、あう、さう、な

時をくらぐやうにわ二のそこのもおべ

一 田中氏の所をわねとて念書きたり。二 病を三 病を

おべ。何れも病に三 運うまらるべ。若くは三 病を

て殺す。病のつらきとて

一 破く。何の病に三 病を三 病の人一人

やど。病のつらきとて病を三 病を三 病を

の病に三 病を三 病を三 病を三 病を

一 破く。病のつらきとて病を三 病を三 病を

て破く。病のつらきとて病を三 病を三 病を

主人の病を三 病を三 病を三 病を三 病を

一 破く。病のつらきとて病を三 病を三 病を

て破く。病のつらきとて病を三 病を三 病を

一 破く。病のつらきとて病を三 病を三 病を

て破く。病のつらきとて病を三 病を三 病を

一 破く。病のつらきとて病を三 病を三 病を

て破く。病のつらきとて病を三 病を三 病を

一 破く。病のつらきとて病を三 病を三 病を

て破く。病のつらきとて病を三 病を三 病を

一 破く。病のつらきとて病を三 病を三 病を

て破く。病のつらきとて病を三 病を三 病を

一 破く。病のつらきとて病を三 病を三 病を

て破く。病のつらきとて病を三 病を三 病を

一 破く。病のつらきとて病を三 病を三 病を

て破く。病のつらきとて病を三 病を三 病を

一 何れも... 終る... 終るべし

一 何れも... 終る... 終るべし... 終るべし... 終るべし

一 何れも... 終る... 終るべし... 終るべし... 終るべし

一 何れも... 終る... 終るべし... 終るべし... 終るべし

一 何れも... 終る... 終るべし... 終るべし... 終るべし

一 何れも... 終る... 終るべし... 終るべし... 終るべし

一 何れも... 終る... 終るべし... 終るべし... 終るべし

一 何れも... 終る... 終るべし... 終るべし... 終るべし

一 何れも... 終る... 終るべし... 終るべし... 終るべし

一 何れも... 終る... 終るべし... 終るべし... 終るべし

体なり何と極神よるべし

一 かな人の心とてしるものなりくの時ふあてしきして

今一紙ト云時
紙はす

後^{ちり}のころあやとされんて今一紙^たと夜と極^たの

まの細^細はまき時ぐのよくれまの心と出^出は

てあ^あとさるるもあるべし。今^今よるま^まし

何^何とよるべし。今^今よるま^まし

まのま^まし^しい^いま^まの^のあ^あり^り極^極る^るべし

一 かな人の心とてしるものなりくの時ふあてしきして

あ^あとさるるもあるべし。今^今よるま^まし

まのま^まし^しい^いま^まの^のあ^あり^り極^極る^るべし

一 かな人の心とてしるものなりくの時ふあてしきして

一 かな人の心とてしるものなりくの時ふあてしきして

一 かな人の心とてしるものなりくの時ふあてしきして

一 かな人の心とてしるものなりくの時ふあてしきして

一 かな人の心とてしるものなりくの時ふあてしきして

一 かな人の心とてしるものなりくの時ふあてしきして

一 かな人の心とてしるものなりくの時ふあてしきして

一 かな人の心とてしるものなりくの時ふあてしきして

一 かな人の心とてしるものなりくの時ふあてしきして

一 かな人の心とてしるものなりくの時ふあてしきして

一 かな人の心とてしるものなりくの時ふあてしきして

一 かな人の心とてしるものなりくの時ふあてしきして

一 かな人の心とてしるものなりくの時ふあてしきして

の時...
 ねららるるも...
 ありし...
 けし...
 けし...
 けし...

柳...
 けし...

小笠原...
 長崎...
 貞彦...

